

図書館だより

第2巻3号

通巻75号

秋季号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library



- ▶ 雑誌の起源 (1)
 - 2・-Gentleman's Magazine 木田橋喜代慎
- ▶ 私の出会った本 (3)
 - 3・西沢悟
- ▶ エアメール (2)
 - 3・私がお世話になった図書館の話, 二つ
藤岡喜久男
- ▶ 語「楽、サロン」 (7)
 - 4・木津先生の仏語ア・ラ・カ・ル・ト
・橋爪先生の独語散歩
- ▶ レファレンス・コーナー
 - 8・辞典案内 ・キーワード ・文献解題
 - 9・紀要案内 ・バックナンバーのお知らせ
- ▶ 新着案内
 - 5・教養関係 6・経済学関係
 - 7・法律学関係 10・工学関係
 - 11・洋書特選
- ▶ ライブラリー特集
 - 11・ヘーゲル生誕210年によせて
榎木益栄
- ▶ 古典の窓
 - 12・隕石物語り (3)
 - 北海道唯一の光珠内隕石-
 - 早川和夫
 - ・古典カレンダー
 - 12・編集後記

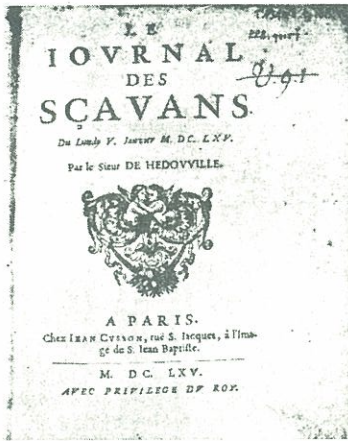
図
書
館
雑
誌

刊行当時の
「図書館雑
誌」標題紙

雑誌の起源

— Gentleman's Magazine —

木田橋 喜代慎



図Ⅰ Journal des sçavans の創刊号
日本図書館協会編、「学術雑誌」
同会発行 昭52, 15頁引用

雑誌というものほど、良いにつけ、悪いにつけ、その内容を単的に表現しているものは、あまりないと思う。

活版印刷が発見され（グーテンベルク、1468年没）てから約200年後にようやく雑誌と銘打った、Le Journal des Sçavans (JS) がフランスにおいて1665年に刊行されたのが始まりで、内容は、名士の消息、社会の出来事、結婚、子息の誕生、死亡記事、刊行された図書、あるいはその書評であるといわれている。図Ⅰはそのタイトル・ページである。古いことで、IはJ、VはU、後にLe Journal des Savants(JS) (Sçavans は廃語)と改題、「学芸雑誌」とでもいうべきだろうか。

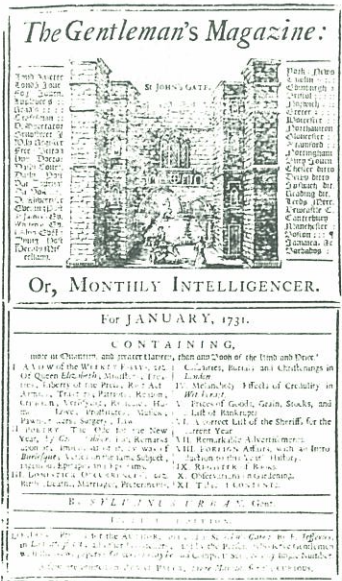
これが、活版印刷の発明されてから200余年のことである。それ以前はというと、速報性のみのもとしては当然、「新聞」であり、これは日本においても同じで、ご存じの「瓦版」は今から365年前（慶長20（1615）年）の大阪落城の戦争図が第1号であるという。（太陽コレクション、5～8号、かわら版・新聞、1—4、平凡社（昭53）カラー版、図書館所蔵）さて今回本学で購入予定の「The Gentleman's Magazine(GM)」は英国においてモダンタイプの雑誌の最古のものとのことである。（図Ⅱ）

月刊、年12冊発行、21×13cm、本文2段組、1号概略40～50頁。vol.1（1731）—303（1907）、各巻ごとに人名、事項（件名）の索引が付けられている。

このGMは前述のJSより66年後（1731年1月）の刊行であるが、その内容は、当時刊行されていた、主として①週刊誌の記事、論文の紹介 ② Poetical essays ③～④国内の出来事 ⑤災害 ⑥訃報 ⑦結婚 ⑧辞令 ⑨ 対外為替相場 ⑩各商品価格（石炭・穀物等）⑪外国事情 ⑫園芸 ⑬破産 ⑭出版図書リストとなっている。

この内容を見出しによってみると、JSとあまり変わらないように見受けられる。いま第1巻（1731）を繰っていたら、第4号の⑥の訃報の4月26日の項にロビンソン・クルーソーで有名な、しかも経済学上の業績も多いという、デフォ（Defoe）の死亡が報ぜられている。また①の欄には当時の英議会の議事の概要が掲載され、第4巻（1734）では総748頁の内、約200頁が費やされている。西欧の各領域の本格的な専門誌は大体1800年の後半になってから創刊のようであるから、こうした雑誌に投稿が集中したようである。本誌に掲載されたシェークスピアに関する文献の研究出版書もある。

（きだはし・きよなり 教養部教授）



図Ⅱ The Gentleman's Magazine のタイトル・ページ

(((私の出会った本)))

順序も系統もなにもなく、思いつくままにランダム・ウォークして、紙面のスペースが盡きたら終りというやり方をとります。

夏目漱石「こころ」

こころの世界の機微を生き生きと浮き彫りにして描いて見せて、永遠の真理という強烈な余韻が残った本です。こころを描くのに此の水準に達している心理学書にはいまだにお目にかかっていないし、心理学的方法の向う側に聳え立つ高峰の一つだと思っています。

シュレディンガー「生命とは何か」

岩波新書、昭和26年の第1刷¥100とあるから、エンゲル係数の高かった当時、岩波新書の値段はいまの¥1000ぐらいだったでしょうか。教養書として汽車通の車中で読んだ。澄んだ鏡に真理を写し出すことのできる本当に偉大な科学者だけが持つ語り口の明快なリズム、雰囲気がいまも鮮かに印象に残っています。



私がお世話になった 図書館の話、二つ。

藤岡 喜久男

一週間ほどたって気づいたのだが、その間私は閲覧許可証をもっていなかった。貴重なアメリカ陸軍省の手になる中国の地図(25万分の1)や、辛亥革命中の立憲派の動きを伝える「秋夜草疏図巻」その他を閲覧、コピーさせていただいたのに。細かいことは省くが、すべて人から人への電話連絡と口頭紹介ですませてきたのだった。確かに一度カウンターでR教授がくる三時以降にしてくれといわれたことがあった。しかし、私は時間が惜しくて、その前日お会いしたK教授の部屋にかけこんだ。K教授は話をきいて、一枚のメモを渡して下さった。そこには「Miss, Linda;」に始って「この日本人教授は、すでにM教授(兼Curator)に先日会っている。下記の本を貸し出されたし」とあって署名してあった。

以上は、アジア関係、とくに近代部門はハーヴァードと並ぶスタンフォード大学フーヴァー図書館でのことだが、もう一つはトロント大学

西沢 悟

ルソオ「エミール」

教育学の書物にはいろいろ出会ったが、やっぱり最初に出会った此の本にもどってしまう。出だしはとっつきにくい、いちどペースにはまりこむと最後まで行ける本だと思います。私にとっていまでも教育書の最高峰です。

未網・荒又「微分積分学 上・下」

高校のとき友人のKから譲り受けたもの。実によい教科書で、のちに数理統計学の手法を学んださいに、基礎知識として実に役に立った。

S. S. Stevens 「Handbook of Experimental Psychology」.

私を実験心理学にひき込んだ本であった。とりわけ、このなかのN. E. Millerの論文。

(にしざわ・さとる 教養部教授)

図書館での話。ここでは先の場合と違って、C教授が前以て四ヶ月の許可証を用意してくれてあった。ある日私は外交文書を借りて、それを八階のEast Asian Libraryにもってゆき、コピーしようとした。ところが、文書館を出る時いつもは開くバーが頑として開かない。黒人の管理人が「これは持ち出せない本だ」という。「いや、持ち出すのではない」「手続きは?」「完全。いつもの通りにした」—2, 3やりとりをしている中に、East Asian Libraryの張さんが現われた。「はい、はい、分りました。先生はどうぞ八階へ」といって、私の借り出した本を渡してくれという。狐につままれた感じであったが、件の黒人氏に「ありがとう」と挨拶して八階へ上がったところ、何と私の机の上に先刻の外交文書がちゃんと置いてあるではないか。それをもった私にはバーが開かず、それを張さんに預けた後の私にそのバーが開く、どうなってんだろう、私には今以てそのわけ、メカニズムが分からない。

とにかく、アメリカでもカナダでも、その他の体験と併せ考え、図書館利用が形式ばらず、かつ高度に機械化されていたのが、印象的である。

(ふじおか・きくお 法学部教授)



●語“楽”、サマノ●

木津先生

の仏語アラカルト

数にまつわる話

フランスで暮し始めて、慣れるまで大変なものの一つが数字である。日本の数体系は完全な十進法で、小学校1年生でも原理が理解されれば百でも千でも直ぐに数えられるが、フランス語の数体系は極めて複雑である。

11から16までが固有の数詞を持ち、70から99までは加算なり掛算なりを加味した、複合的数詞になっている。例えば、75は ^{ソワザン}soixante — ^{カンズ}quinze、(60 + 15)、85は ^{カトル}quatre — ^{ヴァン}vingts — ^{カンズ}cing (4 × 20 + 5)、95は ^{カトル}quatre — ^{ヴァン}vingts — ^{カンズ}quinze (4 × 20 + 15)となるのであるから、小学校1年生ではとても歯が立たないことも理解が出来よう。いや子供達ばかりか大人でも大変であることは買物をして見れば直ちに分かる。73円の買物をして100円を出せば、日本であれば引算の暗算で直ちに、27円のおつりが返ってくるが、フランスであればまづ7円を出して80円といい、次に10円を出して90円、もう一枚10円を出して「100円ハイおつり」といった具合になる。

13世紀のフランス王ルイ9世が建造したといわれる300人収容の病院が ^{ロピタル}l'Hopital des ^デQuinze — ^{カンズ}vingts (15 × 20) の名称を持っているが、現在の80 (quatre — vingts, 4 × 20) と共に二十進法の名残を感じさせる。他方17世紀までは、^{セプタント}septante (70)、^{オクタント}octante (80)、^{ノナント}nonante (90) といったラテン語由来の十進法的数詞も使われており、現在でも南フランス・ベルギー・スイス等に残っている。こうした十進法が17世紀から二十進法的な、我々から見れば不合理な数体系に決められた理由を私は今のところ知らないが、こうした不合理さが、むしろフランス人の数学的思考を深くしているようにも思われる。我々が小学校の3・4年でさせられた九九の丸暗記は、フランスでは15年程前から文部省の指示で禁止されているのも、数の本質を理解させるための配慮からであろう。

(きづ・りゅうじ 教養部教授)

橋爪先生

の独語散歩

ドイツ語 ことばの遊び

我国にも、『瓜売りが瓜売りにきて売り残り売り売り帰る瓜売りの声』といった類の戯歌がありますが、この種の言葉の遊びは洋の東西を問わぬことで、今回はそのドイツ語版を幾つか紹介しましょう。先ずは単純なものから：^{フイツシヤア}Fischer Fritz ^{フリッツフイツシエ}fische (漁師のフリッツが生きのいい魚をとる) 次に副文(ときたら定動詞後置の大原則を思い出して下さい)をもつもの：^{エス}Es ^{クラツパアテン}klappeten ^{ダイ}die ^{クラツパア}Klapperschlangen, ^{ビス}bis ^{イレー}ihre ^{クラツパ}Klappern ^{シュラッパ}schlapper klangen. (ガラガラへびがガラガラ鳴って、ガラガラとうとう鳴らなくなった) この文は文法的にはesが形式上の主語で本来の主語はKlapperschlangen。bisは従属接続詞なので動詞klangenが文末にきたわけです。次に馬鹿馬鹿しい(?)のを一つ：^{ヴェン}Wenn ^{フリエン}Fliegen ^{ヒンタア}hinter ^{フリエン}Fliegen fliegen, ^{フリエン}fliegen ^{フリエン}Fliegen ^{フリエン}Fliegen nach. (ハエがハエのうしろについて飛ぶと、ハエはハエの後を飛んで追いかける) これはFliege (ハエ)とfliegen (飛ぶ)を使ったおあそび。とはいえ定動詞の後置・倒置、分離動詞によるワク構造とドイツ語構文上の特徴がみられる。次のは少く教育的内容を含むもの：^{ヴェア}Wer ^{ブラウヘン}brauchen ^{オーネ}ohne ^{ツウ}zu ^{ゲブラウヘン}gebraucht, ^{ブラウヘン}braucht, ^{ガール}„brauchen“ ^{ニヒト}gar nicht ^{ツウ}zu ^{ゲブラウヘン}gebrauchen. (brauchenという語をzuなしで用いる人は全くこの語を使わぬがいい) これは、brauchenという動詞がzu不定形とともに、否定で「～する必要はない」、nurや**bloß**とともに、「～しさえすればよい」の意味で使われますが、俗語で助動詞の如くzuなしで用いられるのを諷めているわけです。更にはbrauchen(必要とする)のgebrauchen(使用する)の意味での誤用(断定は難しい—我国にも慣用語などあり)に対する注意の喚起をも、この二語の併用により果たしているといえます。ところで私事になりますが、橋爪の爪が誤記されることが多い。『瓜に爪あり爪に爪なし』を想起されればと思うのだが……。 (はしづめ・たつお 教養部助教授)

新着案内

＝ 教 養 関 係 ＝

(新着案内は、昭和55年4月以降に受入、整理された)
 (図書のうち主なものを選択して掲載しています。)

- 自然の統一 C.F.V. ヴァイツゼカー著 法政大学出版局 1979 112 W 55
- 現象学 新田義弘著 岩波 1978 116.7 N 88
- マンウォッチング — 人間の行動学 — D.モリス著 小学館 1980 140.18 Mo 78
- 知的生活 P.G.ハマトン著 講談社 1979 159 H 26
- 旧約聖書文学史 上 関根正雄著 岩波 1978 193.1 Se 36
- 無文学社会の歴史 川田順造著 岩波 1976 244 Ka 92
- 三沢勝衛著作集 1-3 みすず書房 1979 290.8 Mi 51
- 例解統計入門 鈴木義一郎著 実教出版 1971 350.1 Su 96
- 教育基本法文献選集 1-8 別巻 学陽書房 373.2 Ky 4
- 日本教科書大系 近代編 1-27 往来編 1-15 別巻 1-2 講談社〔復刻版〕 1967-1977 375.9 N 77
- 情報論 1.2 瀧保夫著 岩波 1978-1979 401.4 Ta 71
- 異端の科学史 — 近代化学の源流 — 物理学篇 別巻 高村泰雄他著 北大図書刊行会 1979 420.2 Ta 45
- 化学物理入門 木原太郎著 岩波 1978 428 Ki 17
- 日本の言語学 1-6 服部四郎他編 大修館 1980 801 N 77
- 英作文における日本的誤り 松井恵美著 大修館 1979 836 Ma 77
- やさしくできるドイツ文法 藤田五郎著 朝日出版 1979 845 F 67
- NHKドイツ語入門 早川東三著 日本放送出版協会 1979 845 H 46
- 総合ドイツ語入門 小林栄三郎著 三修社 845 Ko 12
- 初級ドイツ語 小塩節著 同学社 1970 845 O 77
- 初等ドイツ中語講座 上, 中, 下 関口存男著 三修社 1977-1978 845 Se 27
- フランス語の初歩の初歩 平田伊都子著 南雲堂 1980 850.1 H 68
- 朝倉初級フランス語 朝倉季雄著 白水社 1965 855 A 85
- NHKフランス語入門 丸山圭三郎著 日本放送出版協会 1979 855 Ma 59
- 教養フランス語 入門編, 文法編 田辺貞之助著 白水社 1957 855 Ta 83
- フランス語手紙の書き方 長塚隆二著 大学書林 1957 856.6 N 24
- 文学序説 桑原武夫著 岩波 1978 901 Ku 95
- 池田弥三郎著作集 全10巻 角川 1979-1980 910.8 I 32
- 片岡良一著作集 全11巻 中央公論社 1980 910.8 Ka 83
- 定本与謝野晶子全集 1.3.9.11-17 講談社 1979-1980 911.16 Y 85
- 断本大系 1-20 武藤楨夫他編 東京堂 1974-1979 913.7 H 28
- 戦争まで 中村光夫 筑摩書房 1979 915.6 N 37
- モダニズム文学と現代イギリス文化 大石俊一著 溪水社 1980 930.1 O 33

新着案内

経済関係

- 私の履歴書 — 経済人 1-8 — 日本経済新聞社編
(同編所) 1980 281.08 W 45
日本経済新聞連載「私の履歴書」に登場した一流
経営者・財界人の自伝を完全収録、昭和経済史へ
の貴重な証言は何を語るか。 — 帯より —
- 福祉国家と福祉社会 — 幻想と現実 — W. A. ロ
ブソン著 東大出版会 1980 313 R 55
- 経済と文明 K. ポランニー著 サイマル出版会
1966 330.4 P 76
- 大塚金之助著作集 7 — 社会思想の旅 — 岩波
1980 330.8 O 88
- 経済学から経済政策学へ 市川泰治郎著 新評論
1980 331.01 I 14
- テキストブック現代経済 柏崎利之輔他編 有斐
閣 1979 331.01 Ka 77
- J.S.ミル初期著作集 2 — 1830-1834 — 御茶の
水書房 1980 331.32 Mi 27
- アダムスミスの生涯 A. アニーキン著 勁草書
房 1975 331.32 A 49
- 資本論と日本経済 川上正道著 有斐閣 1980
331.34 Ka 94
- サミュエルソン経済学大系 2 篠原三代平編 勁
草書房 1980 331.39 Sa 59
- 利潤の理論 — ミクロとマクロの統合 — E. ウッ
ド著 京都 ミネルヴァ 1979 331.64 W 86
- 日本経済展望 香西泰他著 日本評論社 1980
332.1 Ko 81
- 入門世界経済 丸茂明則著 中央経済社 1979
333.6 A 55
- 世界経済論を学ぶ 森田桐郎他編 有斐閣 1980
333.6 Mo 66
- 経営者の時代 上, 下 アメリカ産業における
近代企業の成立 — A. D. チャンドラー Jr. 著
東洋経済 1979 335.02 C 33
- 職業会計人のマネジメントサービス入門 E.L.サ
マー他著 中央経済社 1979 335.9 Su 67
- フリードマンの貨幣理論 R.J.ゴードン著 マグ
ロウヒル社 1978 337.1 F 47
- 世界の通貨 瀧沢健三他著 日本関税協会 1979
337.1 Ta 73
- 外国為替と国際金融 吉田啓一著 泉文堂 1977
337.7 Y 86
- インフレと金融の経済学 飯田繁編著 京都 ミ
ネルヴァ 1979 337.9 I 26
- 日本の証券市場 — 証券恐慌以後 — 川合一郎
著 東洋経済 1979 338.14 Ka 93
- スイス銀行の秘密 C.ビュッヘンバッハ著 東洋
経済 1979 338.234 B 81
- 減速成長下の金融機関 上 川口弘著 日本経済
評論社 1979 338.3 Ka 92
- シティバンク D.Leinsdorf他著 日本経済評論
社 1978 338.253 L 53
- 国際金融経済論 H.R.ヘラー著 東洋経済
1979 338.9 H 51
- 通貨危機の経済学 E.アルトフェーター著 亜紀
書房 1979 338.97 A 41
- 日本の税金 佐藤進著 東大出版会 1979
345.1 Sa 85
- 日本農業基礎統計 加用信文監修 農林統計協会
1979 610.59 N 77
- 日本貿易人の系譜 宮本又次他著 有斐著 1980
678.21 Mi 77
- イギリス海外貿易の研究 — 1870-1914 — S.
B.ソウル著 文真堂 1980 678.233 Sa 91
- テキストブック会計学 2 — 簿記 — 高田正
淳〔等〕著 有斐閣 1980 679.08 Te 93

- 近代ドイツの国家と法学 笹倉秀夫著 東大出版
会 1979 311.234 Sa 75
- 十八世紀の秘密外交史 K. マルクス著 三一書房
1979 319.33 Ma 59
- 独ソ関係の史的分析 1917-1925 富永幸生著
有斐閣 1978 319.34 To 55
- 現代法律学講座 3. 法思想史 28. 刑事訴訟法
29. 刑事学 青林書院新社 1980 320.8 G 34
- 判例コンメンタール 8. 刑法1 9. 刑法2 10.
刑法3 三省堂 320.98 H 29
- 基本判例双書 憲法, 民法, 刑法, 民事訴訟法
同文館 1980 320.98 Ki 17
- 権利のための法学入門 深田三徳他著 京都 ミ
ネルヴァ 1980 321.01 F 71
- 理論法学の方法 駒城鎮一著 世界思想社 1978
321.01 Ko 39
- 法社会学と実験主義法学 及川伸著 法律文化社
1980 321.4 O 32
- ヨーロッパ法史論 H. コーイング著 創文社
1980 322.3 C 83
- 近代法の形成 村上淳一著 岩波 1979
322.3 Mu 43
- 行政関係判例解説 昭和53年 ぎょうせい 1979
323.95 G 99
- 現代家族法大系 4. 相続1 有斐閣 1955
324.6 G 34
- 商法略説 龍田節編 有斐閣 1980
325.01 Ta 95
- 刑法学 — 各論 — 井上正治他著 法律文化社
1979 326.01 I 57
- 現代社会と新しい刑法理論 板倉宏著 1980
326.01 I 87
- 刑法講義 — 総論 — 香川達夫著 成文堂
1980 326.1 Ka 17
- 判例刑法研究 3. 責任 5. 個人法益に対する罪1
有斐閣 1980 326.098 H 29
- 刑法各論 三原憲三著 成文堂 1980
326.2 Mi 17
- 犯罪学入門 藤本哲也著 立花書房 1980
326.3 F 62
- 刑事政策 石原明〔等〕著 改訂 青林書院新社
1980 326.3 I 74
- 死刑再考論 齊藤静敬著 新版 成文堂 1980
326.41 Sa 25
- 行政書士試験のための行政書士のための行政書士
の実務 加藤正愛著 第3版 週刊住宅新聞社
1979 327.17 Ka 86
- 基本マスター民事訴訟法 飯倉一郎〔等〕著 法
学書院 1979 327.2 I 27
- 刑事再審制度の基本問題 齊藤誠二著 多賀出版
1979 327.23 Sa 25
- 鑑定入門 井上剛著 有斐閣 1980
327.627 I 57
- 刑事裁判の拘束力 田口守一著 成文堂 1980
327.615 Ta 19
- 一事不再理の原則 田宮裕著 有斐閣 1978
327.6 Ta 18
- 国際経済法研究 桜井雅夫著 東洋経済 1977
328.1 Sa 47
- 国際法学の再構築 下 寺沢一〔等〕編 東大出
版会 1978 329.01 Te 62
- 深海海底資源と国際法 鷺見一夫〔等〕著 明星
大学出版部 1979 329.14 Su 57

辞典案内

- 経済学大辞典 1.2. 熊谷尚夫他編 東洋経済
1980 330.3 Ke 29
体系別中項目主義を特徴とし、各中項目はそれぞれ
独立の論文という性格をも持つ。参考文献目録は内外
の最新の研究文献を網羅し、発行地・発行所・発行年
を明記。和文・欧文の事項索引、人名索引を付し、特
に人名はフル・ネームと生没年を記入。 一帯より一
経済新語辞典 1981 日本経済新聞社編 (同編
所) 1980 330.3 Ke 29
経営学辞典 占部都美編著 中央経済社 1980
335.03 Ke 29
経営実務大百科 1. アーコ 2. コータ 3.
チーワ 別巻 総索引 ダイヤモンド社編 (同
編所) 1980 335.03 Ke 22
婦人問題辞典 婦人問題辞典刊行委員会編 学習
の友社 1980 367.03 F 64
教育学大事典 1. アーカ 2. キーコウ
3. コークス 4. セーハ 5. ヒーワ、年表
6. 資料・索引 細谷俊夫〔等〕編 第一法規
1978-1979 370.3 Ky 4
色彩科学ハンドブック 日本色彩学会編 東大出
版会 1980 425.7 Sh 34
土木工学辞典 久保慶三郎編 朝倉書店 1980
510.3 D 81
古筆大辞典 春名好重編著 淡交社 1979
728.1 Ko 27
小学館ランダムハウス英和大辞典 小学館 1980
833.1 Sh 95

文 献 解 題

日本の百科辞(事)典

- ブリタニカ国際百科事典 1-28巻 TBS・ブ
リタニカ社 昭和47~50年 031B74
本事典の構成は、本巻20冊、別冊6冊、総索引
と参考文献各1冊から成る。
本巻1-20巻までに収録されている5千項目の
一般事項は、この事典の英語版である「EN-
CYCLOPAEDIA BRITANICA」1973-'74年
版を日本語版に翻訳したものである。項目内容は、
人文系1750、社会系1800、科学系1150、その他
3百項目である。別冊6冊には、各国の人名、地
名等約12万項目を収録している。
ビクトリア現代新百科1-13巻(外に分野別索引
1巻) 学習研究社 昭和52年
家庭・学習用百科として手頃な事典である。地
名・政治・経済等あらゆる分野にわたって現代生
活において使用頻度・必要度から選びぬかれた最

キーワード

民事執行法

昭和55年10月に施行された民事執行法は、強制
執行手続に関する、民事訴訟法第6編の現定の改
正を中心とし、競売法を統合した、民事訴訟法と
は別建の新しい法律です。

すなわち民事執行法とは、民事上の権利を裁判
所が判断した場合などに、それを裁判所を通じて
実現することを中心とする法律です。

この法律の対象は、

- (1) 強制執行手続
- (2) 担保権実行手続
- (3) 形式的競売の手続
- (4) 保全執行手続の4種です。

— 文 献 —

- 条解民事執行規則 最高裁判所事務総局編 法曹
会 1980
※民事執行法—逐条概説— 浦野雄幸著 商事法
務研究会 1979 327.3 U 84
民事執行法—逐条解説— 浦野雄幸著 商事法務
研究会 1980
民事執行法関係資料 新日本法規出版 1979
民事執行法規新旧対照条文 最高裁判所事務総局
編 法曹会 1980
民事執行法入門 住吉博 法学書院 1980
※新民事執行法の解説 田中康久 金融財政事情
研究会 1979 327.3 Ta 84
(※は本学所蔵)

新の項目が約3万9千。索引項目は7万余ある。

第13巻は、学習資料巻で、ここに収録されてい
る内容は、社会・理科・国語・美術他、歴史年表・
日本分県地図等の項目がある。この他に用途に応
じた50音順と分野別索引がある。

21世紀カラマ 1-11巻 主婦と生活社 昭和
54年 031N73

本書カラマは、イタリアのモンダドーワ社刊
“COLORAMA”(カラーでパノラマのように見え
るの意)を原典とし、ヨーロッパ的、地中海的
特色を余すところなく生かしながら、さらに現代の
日本の人々がとくに求めている数千項目とし、1,200
点以上の新しい写真が収録されている。1-10巻
までの3,084ページが本文で、全巻通しページに
なっている。

第11巻は各種地図などの参考図版と写真索引が
ある。

紀要案内

北海学園大学法学研究 15(2)(通31):昭54/11

■論説

フランス税法における会社の合併と分割(1)
藤原 雄三

■研究ノート

再資源化の促進と法の規則(1) 熊本 信夫
共同抵当における物上保証人の代立権
小林 資郎

■紹介

呉経熊 (John C. H. Wu) の自然法論
John C. H. Wu, FOUNTAIN OF JUSTICE — A
Study in the Natural Law —, Taipei, 1971(抄訳)
鈴木 敬夫

ファン＝ケーネヘム

「イングランド法と(ヨーロッパ)大陸」 山下 和夫

■判例研究

緊急命令申立却下に関する一事例
— 吉野石膏事件 — 大和 哲夫

—バックナンバーのお知らせ—

文学, 季刊(厚生閣書店) 1-6:昭7-8
児童研究(日本児童研究会) 1(1)-41(12):明31-
昭18/9

教育思潮研究(教育思潮研究会) 雄松堂復刻
1-12:昭2-23

明星(東京新詩社, 臨川書店複製版) 第1次
1-15:明33/4-明34/9

2(1)-3(7):明35

卯歳3号-申歳終刊号(10号):明36/3-明41/11

明星(明星発行所) 第2次

1(1)-2(7):大正10-大正11

詩・現実(武蔵野書院) 1-5:昭5-6 //

詩と詩論(厚生閣書店) 1-14:昭3-6

以後季刊文学に改題

東京経済雑誌(経済雑誌社) 1-144:明12/1-
明15/1

財政金融統計月報(大蔵省) 1-161:昭24-40,
269-331:昭49-54

American Journal of Legal History

(American Society for Legal History) Phila-
delphia. 16-23; 1972-1979+

Annales; Economies, Sociétés, Civilisations.
Paris. 1-23; 1946-1968+

**Annual Report of the Bank for International
Settlements.** Basel. 1-43; 1931-1973
Arbeit und Wirtschaft. 1-7; 1923-1929
Archiv für Preussisches Strafrecht. Berlin. 1-
77; 1853-1933, General Register 1-53; 1853-1906

Archiv für Preussische Strafrecht.
1-18; 1853-1870

Archiv für Gemeines Deutsches und für
Preussisches Strafrecht. 19-27; 1871-1879

Archiv für Strafrecht. 28-46; 1880-1899

Archiv für Strafrecht und Strafprozess.
47-77; 1900-1933

N. F. Deutsches Strafrecht.
1-11 (1-3); 1934-1944

Goldammer's Archiv für Strafrecht.
1953-1965

刑法・刑事訴訟法 1853年 ゴールトダマー
(Goldammer)により創刊された「プロイセン
刑法誌」創刊者の名にちなんで、ゴールト
ダマー誌とも呼ばれます。

**Archivalische Forschungen zur Geschichte der
Deutschen Arbeiterbewegung.** Berlin.

1-7; 1954-1971

Bankers' Magazine. London. Microfilm.
1-82; 1884-1906 in 23reels.

**Einzelschriften zur Statistik des Deutschen
Reichs.** (Statistischen Reichsamt) Berlin.

1-43; 1927-1940/41

Journal of Conflict Resolution. Beverly Drive,
Calif. 1-16; 1957-1972+

Journal of Law and Economics. (Univ. of Chi-
cago Law School) Chicago. 1-20; 1958-1977

Statistics of Income. (International Revenue
Service) Treasury Dept. Washington.

1916-1964

Vegetatio. The Hague. 1-24; 1948-1972+

Yale Economic Essays. Yale University New
Haven. 1-11; 1961-1971.

Zeitschrift für Deutschen Zivilprozess. Berlin.
1-63; 1879-1943

ドイツ民事訴訟法雑誌。ドイツの最も権威あ
る、そして唯一の民事訴訟法雑誌。

Zeitschrift für Zivilprozess. Köln.として続く。
64-76; 1950-1963+

**Zeitschrift der Savigny-Stiftung Rechtsgeschi-
chte.** Weimar.

Romanistische Abt. 1-92; 1880-1975,
General Register 1-50; 1880-1930

Zeitschrift für Rechtsgeschichteの誌名変遷後
誌で、3分割された内の1誌。他の2誌のうち

Germanische Abt. Abt; 1(1880)+は既に
所蔵しています。

新着案内

工 学 関 係

- 図解演習熱力学 北山直方著 オーム社 1979
501.26 Ki 74
- 見えがくれする都会—江戸から東京へ— 楨文彦
他著 鹿島出版会 519.8 Ma 34
- 新体系土工学 土木学会編 技報堂
510.8 Sh 69
- 建築形態のダイナミックス 上、下、R.アルンハ
イム著 鹿島出版会 1980 520.1 A 79
6. 弾性体の力学 秋山成興著
8. 構造物の非弾性解析 太田俊昭著
10. 構造物の振動解析 片山恒雄著
22. 密度流の水理 玉井信行著
28. コンクリート材料 長滝重義著
30. 特殊コンクリート 小林一輔著
33. 鉄筋コンクリート構造物の設計と施工
谷内田昌熙著
- バウハウス—その建築造形理念— 杉本俊多著
鹿島出版会 1979 520.1 Su 38
43. 橋梁上部構造 3 西山啓紳著
45. 基礎工 1 大橋勝弘著
46. 基礎工 2 上田勝基著
51. 土木測量 村井俊治著
52. 土工学のシステム分析 吉川和広著
53. 地域計画ノート 1 山村悦夫著
62. 道路 2 鈴木道雄著
63. 道路 3 三谷浩著
66. 鉄道 1 岡田宏著
67. 鉄道 2 伊能忠敏著
70. トンネル 1 天野礼二著
75. ダムの設計 飯田隆一著
82. 港湾施設の設計 松並仁茂著
83. 港湾施設の施工 浦江恭知著
85. 海洋施設の設計と施工 北島昭一著
87. 環境保全 2 末石富太郎著
88. 上水道 丹保健仁著
91. 廃棄物処理 平岡正勝著
94. エネルギー施設 2 荻原敏雄著
95. 貯蔵タンクサイロ 末原忠司著
97. 契約・積算 田村宥著
98. 土木工事管理 山城孝著
- 建築について 上、下、F. L. ライト著 鹿島
出版会 1980 520.1 W 94
- 建築空間の魅力—私の体験— 芦原義信著 彰国
社 1979 520.4 A 92
- 建築は兵士ではない 鈴木博之著 鹿島出版会
1980 520.4 Su 96
- 建築技術選書 12—ソーラー・ハウス— 京都
学芸出版社 1979 520.8 Ke 41
- メタポリス以後—戦後日本建築の軌跡— M. F.
ロス著 日経マグロウヒル社 1978 520.8 R 73
- 文化財と建築史 関野克著 鹿島出版会 1969
521 Se 27
- 日本の建築—明治・大正・昭和— 三省堂 1979
521.08 N 77
- イタリアの現代建築 V. グレゴッティ著 鹿島
出版会 1979 523.3 G 84
- 建築骨組の最適設計 中村恒善著 丸善 1980
524.6 N 37
- 建設技術改善の手法 H.W. パーカー他著 彰国
社 1979 510.9 P 24
- 建築物の遮音性能基準と設計指針 日本建築学会
編 技報堂 1979 524.96 N 77
- 土質工学基礎叢書 1—土の工学的分類とその利
用— 鹿島出版会 1979 511.3 D 88
- 建築設備の設計法—建築計画のすすめ方— 大庭
孝雄著 京都 学芸出版 1979 525.1 O 11
- 鉄筋コンクリート工学 横道英雄著 共立出版
1973 511.7 Y 77
- 伝熱工学例題演習 班目春樹著 コロナ社 1979
533.1 Ma 25
- 実力養成測量学詳説—基礎編— 兼杉博著 理工
図書 1979 512.01 Ka 54

ヘーゲル生誕 210 年によせて —— 榎 木 益 栄

ヘーゲルはドイツ観念論の完成者であると同時に西洋哲学全体の完成者といわれている。彼の弟子達にとってはヘーゲル哲学は哲学そのものであった。したがって彼らは、師の哲学に抵抗しようとしたときの自分達の立場を非哲学と規定しなければならなかった。ヘーゲル哲学の特質の1つは思惟の優位性に基づく思惟と存在の同一性の主張にある。ヘーゲルが哲学の方法としての弁証法を「存在そのものの運動」と規定するとき、その運動は本質的に思惟の運動となる。彼の弁証法が観念論的弁証法と呼ばれる所以である。観念論的弁証法は完結的性格をもっている。理性の自己実現という歴史観からして、理性が自己を実現し終わっていると考えたヘーゲルは当時のフィヒテ主義的社会主義を批判し、「現実的なものは理性的である」と主張してプロシヤ国家への妥協を強調せざるを得なかったが、歴史の過程のなかでは現実が非理性的であるならば、これを否定し理性化することを主張している。「理性的なものは現実的である」という命題がそれである。青年ヘーゲル学徒はこ

こにヘーゲル弁証法の進歩性を見る。このとき弁証法は完結性を打破して過程的な性格をもたねばならず、やがて存在の優位性に基づく思惟と存在の同一性を主張する立場に移行せざるを得なくなる。唯物論的弁証法の成立となる。たとえ観念論的な歪曲はあろうともヘーゲル哲学には数え切れない真理が鑿められている。それらを取り出し存在との真なる関係に移し入れることは難しい仕事であり試行錯誤を伴うことではあるが、現代がなさねばならぬ仕事である。現実から離れて空想的になることを戒めた言葉に「ここがロドスだ ここで踊れ」という言葉があるが、ヘーゲルは体系の完結性から当時の現実を或る意味で絶対化したきらいがある。現実はずねに過程的性格をもつものであるから、絶対性という白昼のなかで踊る単なる阿呆になることは避けなければならないが、現実の過程的性格のなかに現存している必然性を目をすえて踊ることも忘れてはならない。

(えのき・ますえい 教養部教授)

洋書特選

教養関係***The world of learning 1979-80, vol. 1, 2 (010 W88)は30版を重ねた「世界教育研究名鑑」として知られる。Piaget's theory of intellectual development (141.1 G46)は最近亡くなったピアジェの知能心理学。ほかに、The works of Plato (131.3 P71)がある。

経済学関係***アダム・スミスの Essays on philosophical subjects (331.32 Sm 5)はグラスゴー版全集第3巻で古代ギリシヤの自然哲学への彼の造詣を示す書。他に農業経済学の文献集, A survey of agricultural economics literature, vol. 1, 2 (611.03 Ma 53)がある。

法学関係***Documents of the non-aligned movement, vol. 1-3 (319 D 81)は非同盟諸国の動向に関する文献。

工学関係***Tensile architecture (520.2 D 91)は エスキモーの住居から現代までのつり構造建築史。Longman dictionary of scientific usage (403.3 L 86)は独自の分類になる科学用語集。

語・感・六・感
— あなたの翻訳 —

名著冒頭の一節から作者と作品をお当て下さい。

All men naturally desire knowledge

原文: Πάντες ἄνθρωποι τοῦ εἰδέναι ὀρέγονται φύσει. (Loeb classical library 版)

前回の解答: 「およそ幸福な家庭はみな似たりよつたりのものであるが、不幸な家庭はみなそれぞれに不幸である。」(『アンナ・カレーニナ』北御門二郎訳 東海大学出版会)

古典の窓

隕石物語り その3

北海道唯一の光珠内隕石

早川和夫

もしも目の前に天から石が降ってきたら、あなたはどうしますか。こうしたあり得ないような事実が本当に北海道であったのです。今から55年前の1925年(大正14年)9月4日午後4時すぎ、美唄市郊外沼貝町字光珠内に農業を営む田中さんの畑地に隕石が突然落下しました。

北海道新聞の前身である当時の北海タイムスは、その時の状況を次のとおり報じています。「沼貝町では4日午後4時半頃、突然中天に轟々たる尾をひき、西方より東に向け、一大音響があったので、人々は何事ならんと戸外に飛び出したが、間もなく字光珠内田中善蔵方より百間程はなれた畑地の燕麦稈を積重ねたる上に落下したものがあつたので、恰も其処より五百間を離れたる箇所に居た同人の俸勝外1名が駆けつけ拾い見るに黒色を呈する厚さ一寸三角形の石塊であつたが、附近のものは隕石であると云うている」(原文のまま)。

わたくしがこの記事を見つけたのは、20年も昔のことです。当時の小樽市立図書館(七田博信館長)の古色蒼然とした資料の中から、この記事を見つけた時は私自身が隕石を拾ったような興奮を覚えました。

わたくしが隕石に直面したのは、新聞を探した時から10年も前の1952年(昭和27年)のことでした。私の北大時代の恩師福島久雄先生が昔話の中で、「中学生時代に美唄附近に隕石が落ちて大騒ぎしたよ」と言われたことを唯一のたよりに、隕石探しを開始したのです。

暗中模索という言葉がありますが、まさにこうしたことを言うのでないでしょうか。誰に聞いても、何をしても所在が不明でした。こういう時は唯ひとつ、聞き込み調査以外に手は無いのです。

わたくしのやり方は、美唄市とその周辺の神社仏閣と旧家を尋ねて聞いて歩くことでしたが大部分は徒労に終

りました。「さあそんな話は聞いたことはないね」というのは良い方で、「あなたは人をからかう気か、隕石か何か知らないが、空から石が降るなんて馬鹿な話がありますか」などと半きちがい扱いされた事すらあった位です。今日は隕石といえば小惑星のカケラが地球の引力に捉えられ地上に落下したものと理解されています。ここ20年間の宇宙科学の進歩と科学知識の大衆化には驚く外はありません。

こうして私は聞き込みで光珠内隕石の所在をつきとめました。わたくしが国鉄光珠内駅から300メートルの田中さん宅を尋ねたとき、篤農家の田中勝さんは仏壇から紫の袱紗に包んだものをうやうやしくわたくしに差し出してくれました。そして、「この20年間あんたがくるまで誰も来なかったものね」としみじみ語っていました。

ひとたび所在が判明すると研究調査はどんどん進みました。村山定男さん(上野科学博物館)、八木健三先生(北大理学部)などのすぐれた論文が出版されています。光珠内隕石は重さ316グラム、大人の握りこぶし大の岩石で、地球のカンラン岩に相等する岩石です。

すでにお気づきとは思いますが、この隕石は田中さん個人の所有です。日本では隕石の所有権は拾得者にあります。10年前のことですが、東京・上野の国立科学博物館で日本隕石展が開かれた時、光珠内隕石は一度だけ道外に出たことがあります。その時、完全なレプリカを2個作りました。1個は村山定男さん、もう1個は私が保管しています。これらのレプリカを田中さん宅の本物と並べた時、どちらが本物か判別できる人はいないでしょう。

次回は隕石の持つ宇宙科学的意義についてお話したいと思います。

(はやかわ・かずお 工学部教授)

芸術	<p>小さな者と一緒じゃ、小さなことしか出来ぬ。大きな者相手だと、小さな者でも大きくなる。 『ファウスト 第二部』(岩波文庫)</p>	ゲ I テ	名 句 四 季 選	デ モ ク リ ト ス	<p>学習は労苦によって美しき成果をあげる。しかし、労苦を欠けば醜き果実が実る。 『知者たちの言葉』(岩波新書)</p>	科学
<p>ベートーヴェン Beethoven (1770・12・16) 生誕 210年 ベートーヴェンは森の人であった。ハイリゲンシュタットの森は耳の病をやわらげ、失恋の傷をいやした。エロイカ(英雄交響曲)やパストラーレ(田園交響曲)はこの森なしには生まれなかった。彼はつねにこの森から遠く古代ギリシャのアルカディアに思いをはせていた。</p>		カ レ ン ダ ー	古 典	'80 秋	<p>ベスタロッチ Pestalozzi (1746—1827)『隠者の夕暮』 (1780) 出版 200年 34才になったベスタロッチは189項からなる教育の綱領を作った。これが『隠者の夕暮』である。それは民衆の無知と貧困としての「夕暮」が終わり、「夜明け」を宣言するものであった。</p>	小 特 集

編集後記

- 太陽ふりそそぐ夏も去り、「きりぎりす」であったか、はたまた「あり」であったか身にしみる寒さになりました。来年の夏、又元氣な「きりぎりす」であるようにこの秋季号をお届けします。
- 次号は1月10日発行の予定です。

北海学園大学附属図書館報「図書館だより」Vol. 2 No. 3 (通巻75号) 1980年10月10日発行

北海学園大学附属図書館発行 062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 電話 011-841-1161 (代表)

内線、総務係 272 整理係 273 閲覧係 274~275